

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和元年度 第2回相模原市スポーツ推進審議会				
事務局 (担当課)		教育委員会 教育局 生涯学習部 スポーツ課				
開催日時		令和元年8月22日(木)午後3時00分 ~ 午後5時00分				
開催場所		市役所第2別館5階 教育委員会室				
出席者	委員	11人(別紙のとおり)				
	その他					
	事務局	8人(生涯学習部長、スポーツ課長 他6人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 あいさつ 2 議 題 (1)(仮)相模原市スポーツ推進計画における成果指標について (2)相模原市スポーツ振興計画の進行管理について 3 その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 あいさつ

生涯学習部長及び井上会長があいさつを行った。

2 議 題

(1) (仮)相模原市スポーツ推進計画における成果指標について

事務局が資料 1 の説明を実施した後、審議を行った。

各指標の「基準値」に記載のある「R 1 調査」とは何のことを示しているのか。

令和元年度に実施する「総合計画の進行管理等に係る市民アンケート調査」のことである。本調査は、市企画政策課が毎年実施しており、その結果をふまえ基準値を定めることを考えている。

成果指標 4 「スポーツを定期的 (週 3 回以上) に行う児童・生徒の割合」について、対象は小学校 5 年生の児童と中学校 2 年生の生徒が対象だと思うが、運動部活動での運動はスポーツの実施機会に含むのか。

運動部活動で実施した運動は、自主的に行っているものなので、スポーツの実施機会として含む。なお、体育授業は義務教育として行うものなのでスポーツ実施機会として含まない。

- P 3 の参考指標について、スポーツ実施頻度の設問については、早朝の時間帯も含んでいるのか。朝練習は、体内時計を調整してくれるなど、子どもの発育にとっても大切なので、実施時間帯も含めて調査をしてほしい。

早朝の時間帯も含んでいる。なお、調査全体の設問のバランスや設問数に限りがある等の制限があるため、変更・追加は難しい部分がある。今後の参考にしたい。

- 「みる」の指標については、ホームタウンチームの観戦だけに留まらず高校生のスポーツや小学生のスポーツなども含めて対象を広げてよいのではないか。「ささえる」についても、参考指標として「スポーツボランティア登録制度の登録者数」が設定されているが、それだけでは実際のボランティア数を把握することはできないのではないか。

成果指標については、全体を網羅することは難しい部分もある。実態の把握に努める方策として、今回は新たに参考指標を設けた。今の意見は参考としたい。

- 参考資料1の「施策の方向11 運動習慣・生活習慣の確立」というタイトルについて、生活習慣を改善していく具体的な施策はあるのか。本計画に「生活習慣の確立」を施策として位置付けることは難しいのでは。

学校の指導主事が学校に直接出向いて教員や保護者へ生活習慣の改善に関する指導を行っており、生活習慣の改善は体力の向上やスポーツの実施にも結び付く。このような取組もふまえ、庁内で検討した上で生活習慣を施策として記載している。

(2) 相模原市スポーツ振興計画の進行管理について

事務局が資料2の説明を実施した後、審議を行った。

【基本目標1の指標】

- どのようなスポーツクラブが総合型地域スポーツクラブとして認められるのか。

活動拠点があり、多種目多世代で地域住民がスポーツを楽しめる機会を提供するスポーツクラブであれば認められる。

- 複数のスポーツを実施するスポーツクラブは多くはない。「総合型」にこだわらなくてもよいと思う。

現行計画策定時に、文部科学省が総合型地域スポーツクラブを導入したこともあり、その流れの中で成果指標に設定した部分もある。次期計画には指標には入る予定はない。

- 「3 健康づくり・社会参加のためのスポーツ・レクリエーションの推進」の実績に障害者を対象に、16種目のスポーツ講座を開催したとあるが、実施した種目を教えてほしい。小中学生を対象とするならば、アーチェリーなどは参加が難しい。ゴールボールやボッチャなどの小中学生が手軽にできる障害者スポーツを導入すべきである。

ボッチャは既に行なっている。

- 障害者団体の取組として、昨年10月に開催したさがみはらスポーツフェスティバルにおいて、フライングディスクを行った。開始から終了まで、小さい子どもからお年寄りがみんな楽しんでいた。障害者スポーツは誰でも簡単にできるので、学校で是非取り入れてもらい、障害者スポーツを普及してほしい。

- 前任校でゴールボールやボッチャ、車椅子バスケットボールを実施した。障害のない子どもが障害者スポーツを体験することは、障害者やスポーツ振興への理解などにつながる部分大きい

- 「課題と今後の方向性」の中で、平成30年度のスポーツ実施率が20代で5.9ポイント、40代で8.5ポイント上昇との記載があるが、要因を分析していたら教えてほしい。

小学校を対象に、ホームタウンチームと連携した親子で楽しめるファミリーサッカー教室などの新規事業導入等が一因となっていると分析している。

- 「R1年度取組」欄に「継続して実施」との記載があるが、前年と同じことを繰り返すということか。

同じことを繰り返すわけではない。内容については、結果をふまえて適宜変えている。

【基本目標2の指標】

- 学校体育施設開放の利用件数が伸びていないのはなぜか。また、「R1年度取組」で「継続して実施」と記載してあるが、学校体育施設開放を実施する学校数を増

やすための取組を行うということなのか。

学校体育施設開放は、教育活動に支障がない範囲という制約があるため、他のスポーツ施設のように、利用者数を増加させていくことは難しい側面がある。「継続して実施」とは前年度と同様に学校体育施設開放を実施するということである。

- 「課題と今後の方向性」では、スポーツ施設の利用者数の課題として、働き盛り・子育て世代の利用の伸び悩みを挙げているが、それだけではないと思う。例えば、少人数の登録団体がフロア全面を利用していることがあるので、利用団体数が限られるのではないか。効率的な利用方法を検討できるように感じる。

意見として参考にしたい。

- ネーミングライツの事業は、財政面での取組だと思うのでスポーツ振興にそぐわないのではないか。

施設を管理するという観点から、財源の確保が重要となるため、ネーミングライツの事業を位置付けている。

- 子どもにとって、身近な遊び場所になり得るのは学校である。富裕層はよいが、そうでない世帯が多いのが現実である。放課後や土日等に閉校している学校もあるので、そういった学校を利用できるようにして、子どもたちの遊べる場所を確保してほしい。地区別にスポーツ実施率の実態把握も必要では。

意見として参考にしたい。

【基本目標3の指標】

- スポーツ観戦率について、テレビやネット配信で視聴した人は観戦率に含めないのか。

施策の中にテレビやネット配信に関する取組がないため、取組の成果を図ることができないことから含めない。また、近年はスポーツを現場で観る価値がクロージアアップされている状況もある。

○ 「1 スポーツを通じた良好な都市イメージの醸成・発信」の予算が倍増しているが、それでも予算規模は小さいと思う。どのようなことに取り組んでいるのか。

支出については、ホームタウンチームの啓発物品等の作成・配布であるが、引き続き効果を上げられるように取組みたい。

○ 「2 トップスポーツの魅力にふれる機会の充実」の「R1年度取組」に(仮称)相模原エンデューロや(仮称)相模原クリテリウムが記載されているが、今後も継続して取組む予定なのか。

来年度以降も実施したいと考えているが、実績と予算の兼ね合いを見て検討する。

○ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会などの大きなスポーツ大会を子どもにみせてあげたい。所得の低い世帯が多くいるのが現実であり、そうした世帯の子どもがスポーツに触れる機会をつくらなければいけない。

○ 気軽にスポーツに楽しむことができる環境づくり、そのため草の根の活動が重要である。そのためには、市内の小学校の施設設備を活用し、子どもがスポーツに親しめる施策を考えてもらいたい。

施策について検討していく。

3 その他

事務局より、「1 year to go! 相模原で応援しよう!」のイベントの周知、及び次回審議会が10月3日(木)15時から開催される旨の周知をした。

*以 上

相模原市スポーツ推進審議会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	井上 直子	学識経験者（青山学院大学教授）	会長	出席
2	阿久根 英昭	学識経験者（桜美林大学教授）		欠席
3	井出 樹里	学識経験者（トップアスリート）		欠席
4	志村 信一	公募市民		出席
5	安田 ひろみ	公募市民		出席
6	西岡 直子	（一社）相模原市医師会		出席
7	三塚 康雄	（公財）相模原市体育協会		欠席
8	上西 雅己	相模原市立中学校長会		出席
9	岡崎 広志	相模原市立小中学校長会		出席
10	八木 英樹	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		出席
11	大山 孝	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会	副会長	出席
12	大谷 政道	相模原市公民館連絡協議会		出席
13	小出 庄作	（特非）相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		出席
14	平栗 文夫	総合型地域スポーツクラブ（（特非）城山スポーツ &カルチャークラブめいづる）		欠席
15	山内 渉	ホームタウンチーム（ノジマステラ神奈川相模原）		出席